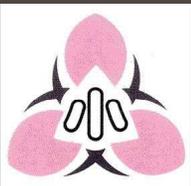


平成27・28年度

国立教育政策研究所教育課程研究センター
関係指定事業研究協議会
研究指定校（特別活動）

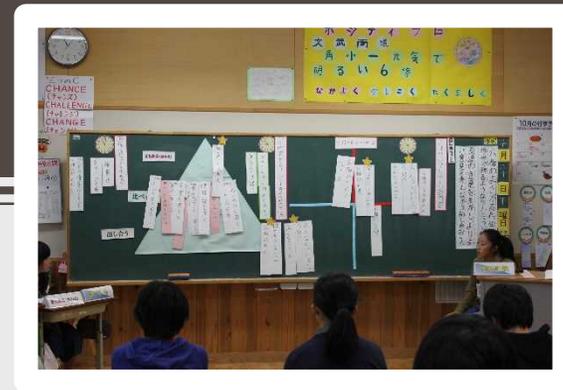
研究の取組



秋田県仙北市立角館小学校



自分のよさを積極的に発揮しながら、協力して
よりよい生活を創っていかうとする子どもの育成
～思考力・判断力・実践力を育てる指導と評価の工夫～



本校の特別活動「研究の特徴」

諸問題を解決しながら **楽しく 協力して** 生活しようとする自主的、実践的な態度を身に付けた子ども

思考力
判断力

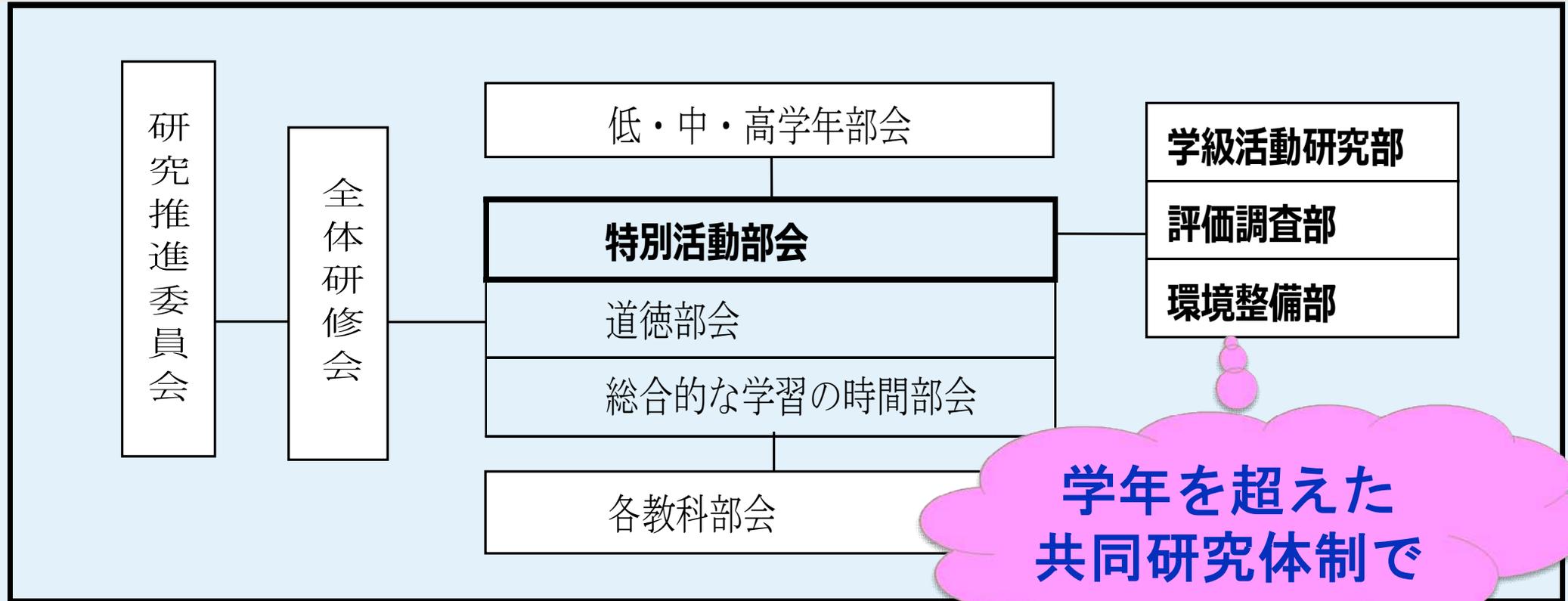
「くらべ合う」や「どのようにするか」に重点をおいた話し合い

短冊や思考ツールの活用

実践力

「振り返る」活動の位置付け
視点を与える

1 研究体制



2 研究内容及び具体的な研究活動（27年度～）

- (1) **学級目標**設定の仕方の工夫
- (2) **教室環境**の整備
- (3) **話し合い活動**の充実
- (4) **年間指導計画**の見直しと適切な活用
- (5) 低・中・高学年の話し合い活動における、合意形成に必要な**思考力・判断力・実践力**を育てる**指導と評価の在り方**
- (6) **自己指導能力**としての思考力・判断力・実践力を育てる指導の工夫
- (7) 児童会の一員としての役割や諸問題を解決する方法などについて考え、判断し、協同して実践できる力を付ける**児童会活動（委員会活動）の改善**

具体的な研究活動

(1)学級目標設定の仕方の工夫

学級生活づくりの指標となる学級目標

学級目標づくりの基本姿勢と手立て

〈学級目標〉

「こんな学級だったらいいな」「こんな学級にしたい」という“子どもたちの思いや願い”から子どもと一緒につくる。

- ◆学年で**目標の意味付けを共通理解**して進める。
- ◆学級目標は**学級活動（2）**の内容で扱う。
- ◆**決定のプロセス**を大事に。
- ◆教師の**学級に対する思い**を発信。

〈5梅〉

思いやりいっぱい 信頼し合い 助け合い

どんなときも 気持ちを一つに

笑顔あふれる 明るい5梅

～ なかよく かしこく たくましく ～

28年度は、

- ・単なるスローガンではなく、振り返りができるように考える。
- ・下に 教育目標にある—なかよく かしこく たくましく—を入れて掲示する。

(2)教室環境の整備 ◆ 「学級会コーナー」の掲示

環境整備部の提案で全学級統一

・ 教室前の柱

「話し合う日」

「議題」 「提案理由」

「決まっていること」

「話合いのめあて」

「話し合うこと」



◆ 「学級会コーナー」の掲示

・ 柱横の掲示板

「計画委員のメンバー」

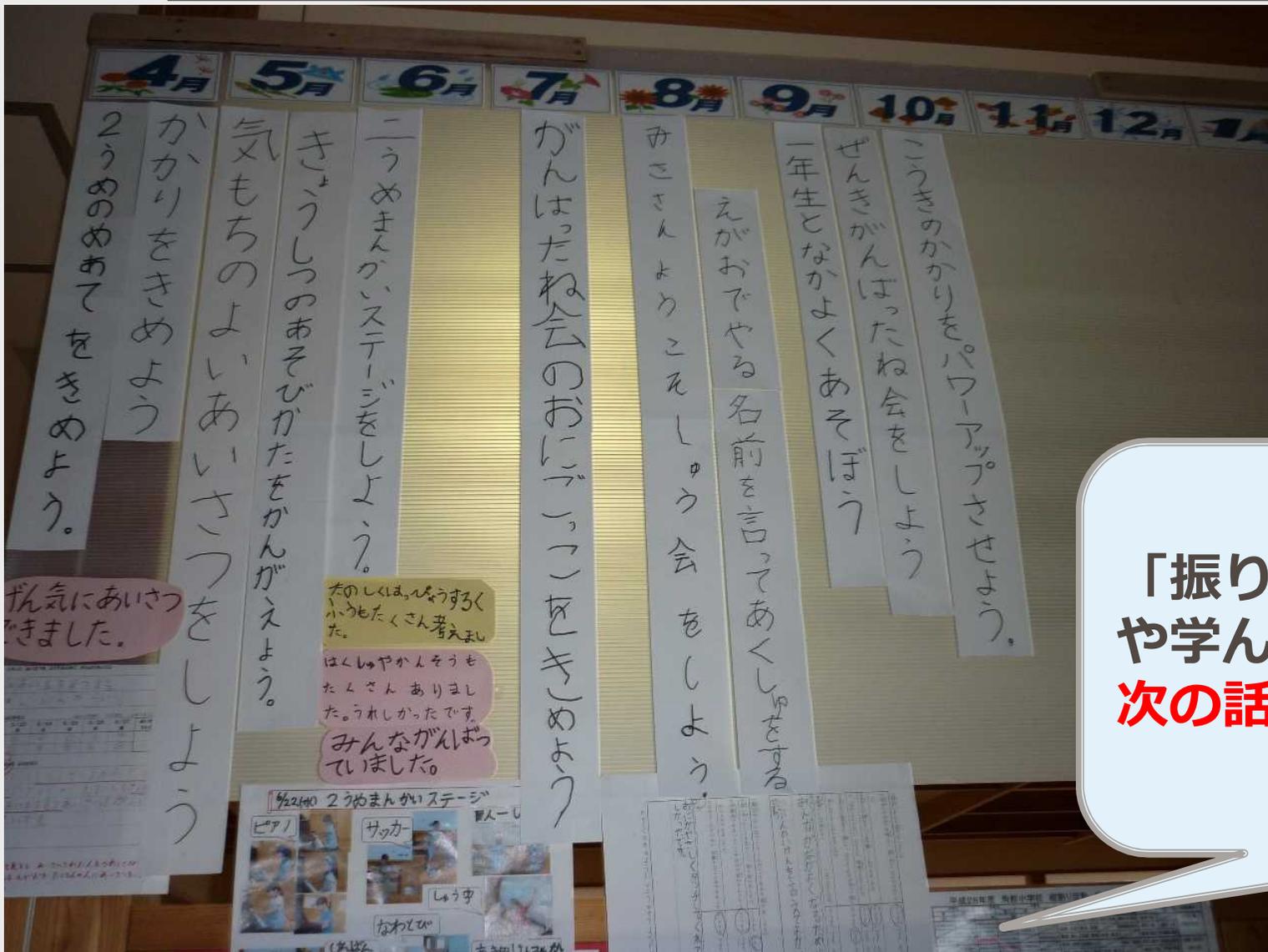
「学級会の記録」

をファイルに綴じて

月の行事予定に、**学級会の予定**を書き込み、**活動の見通し**や**意欲**を高める。



◆ 「学級の歩み」の掲示



学級会や

学級集会活動の記録

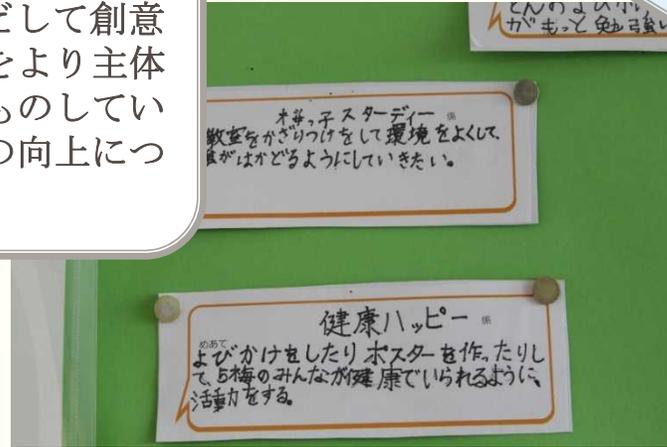
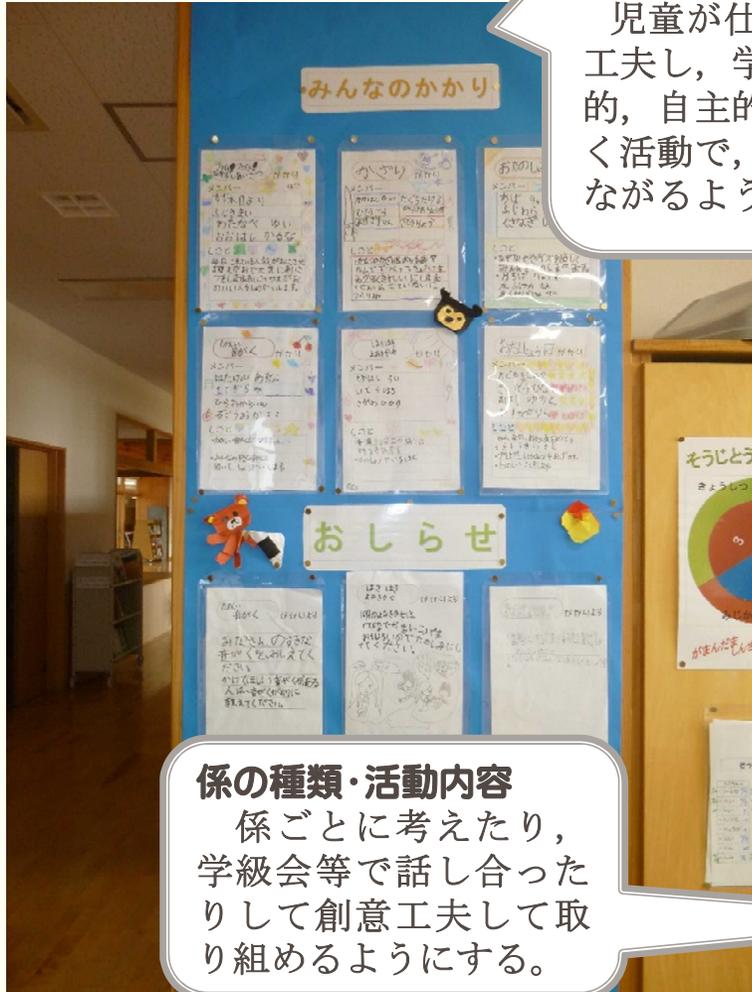
「振り返り」を掲示し、感動したことや学んだことを学級全体で共有化。
次の話合いや実践に生かせるように。

◆係活動コーナーの掲示

係活動

児童が仕事を見いだして創意工夫し、学級の生活をより主体的、自主的で豊かなものしていく活動で、学級生活の向上につながるようにする。

学年色の台紙の上に係の計画や係からのお願いなどを貼る。**全学級が同じ場所に掲示**することで、児童の情報交換も可能に。



係の種類・活動内容

係ごとに考えたり、学級会等で話し合ったりして創意工夫して取り組めるようにする。



(3) 話し合い活動の充実



- 「学級会の進め方」の作成
← 環境整備部
- 「学級活動ノート」の作成
← 学級活動研究部
- 板書について

研修会で 学級会「模擬授業」

(4) 年間指導計画の見直しと適切な活用

学級活動年間指導計画【6年松組】

学級目標 (子どもたちの願い)	ねばり強く考え 協力して友情を深め 最上級生としてやりとげる 6松	学級経営目標 (教師の願い)	○「がまん」を合言葉に、責任を持って当番活動、委員会活動に取り組み、学級の一員としての意識を深める。 ○「向上心」を合言葉に家庭学習を習慣化し、基礎学力の定着を図る。 ○「協力」を合言葉に係活動などに友達と力を合わせて取り組み自分の得意なことに気づくことで自尊感情を育成する。
--------------------	---	-------------------	--

学期	月 (週)	(1)の内容 ＜学級や学校の生活づくり＞ ア 学級や学校における生活上の諸問題の解決 イ 学級内の組織づくりや仕事の分担処理 ウ 学校における多様な集団の生活の向上	(2)の内容 ＜日常生活や学習への適応及び健康や安全＞ ア 希望や目標を持って生きる態度の育成 2 イ 基本的な生活習慣の形成 1 ウ 望ましい人間関係の形成 2 エ 清掃などの当番活動の役割と働くことの意義の理解 2 オ 学校図書館の利用 1 カ 心身ともに健康で安全な生活態度の育成 1 キ 食育の観点を踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成 1	(2)指導のねらい
前期	4 (2)	(予想される議題例) ＜話し合い①②③～話し合うこと＞ ・前期の係を整えよう ＜①係の種類はどうするか ②係活動が活発になる工夫＞	□最高学年としての自覚をもとう (ア) [2年生になって、こんな3年生に、こんな4年 ○組に、高学年のスタート(5年)]	・進級を喜び、最高学年としての自覚と責任をもたせるとともに、よりよい学級や学校にしていこうとする意欲を高める。
	5 (3)	・運動会を成功させよう ＜①運動会のテーマはどうするか ②役割分担はどうするか＞ ・学校生活を見直そう	□最上級生としての役割 (エ)	・当番活動や委員会活動などへの取組を通して、働くことの意義を考えるとともに、学校全体のことを考えて活動しようとする意識を高める。
	6 (4)	＜①廊下の歩き方でどんなところを見直すか ②歩き方を良くする方法＞ ・五年生に思いを伝えよう ＜①宿泊学習が成功するためのプレゼントを何にするか ②思いを伝えるための工夫＞ ・一年生と交流しよう		
	7 (3)	＜①何をするか ②どんな工夫をするか＞ ・さくら満開ステージに全員で出場しよう ＜①何を発表するか (5分以内で1つか2つ) ②どんな工夫をするか＞ ・たっちヒーローをたくさん見つけよう ＜①たっちヒーローの見つけ方を考えよう	□バランスのとれた食事を(キ) ＜家庭科「くふうしよう朝の生活」＞	・日常の食生活を振り返り、5大栄養素とその役割に気を配りながら、自分の食生活の何を改善したらよいかを考えさせる。
	8 (1)	②紹介の仕方を考えよう ・あいさつ運動を成功させよう ＜①あいさつをよくするための方法を考よう ②返事を良くするための工夫＞		
	9 (3)	・スポーツ大会を開こう ＜どんなスポーツをするか (1つか2つ) ②友情を深めるための工夫＞ ・休み時間の過ごし方を考えよう ＜①室内でできる遊びを考えよう ②時間のルールを考えよう＞	◆男女の協力(ウ)	・異性の友達のよさを認め合い、特性を生かしながら、互いに協力してよりよい学級を築き上げていこうとする気持ちを高める。
	10 (1)			

学級ごとに作成

学級ごとに作成

学年で共通

学級活動(2)の(キ)題材一覧

月	1年	2年	3年	4年	5年	6年
4	□ たのしい給食の準備をする。 ・学校の給食の準備をする。					
5						
6						
7		□ めざせすぎぎらいゼロ ・健康で丈夫な体を作るためには、何でも食べることが大切であることを知り、好き嫌いせずに食べようとする意識を高める。	□ 規則正しい食生活 ・暑さに負けない元気な体を作るために、規則正しい食生活について考え、自分にあった計画とめあてをもたせる。		□ 気持ちのよい食事をする。 ・一息に食事をすべし、ゆっくりと味わう。 ・食事をすべし、ゆっくりと味わう。 ・食事をすべし、ゆっくりと味わう。	□ バランスのとれた食事を(家庭科「くふうしよう朝の生活」)をとり、日常生活の食生活に気を配り、5大栄養素のバランスのとれた食事を考える。
8				□ 早起き・朝ご飯を早く食べる。 ・早起き・朝ご飯を早く食べる。 ・早起き・朝ご飯を早く食べる。		
9	□ ななめかたの食生活。 ・ななめかたの食生活。					
10		□ 朝食をしっかりとる。 ・朝食をしっかりとる。				
11			◆ バランスよく食べよう ※ 栄養教諭との連携 ・食生活の改善を促す。 ・食生活の改善を促す。			
12	□ すききらいなく食べよう。 ・健康な毎日を送るために、バランスよく食べようとする。					
1		□ バランスのよい食べ方を身に付ける。 ・病気に負けない体を作るために、バランスのよい食べ方を身に付ける。				
2				□ バランスのよい食生活を身に付ける。 ・自分たちの食生活について考え、バランスのよい食生活を身に付ける。		
3						
	20	17	13		10	

学年で共通
 学級活動(2)
 の指導を学年を
 追って系統的に

(5) 低・中・高学年の話合い活動における、合意形成に必要な思考力・判断力・実践力を育てる指導と評価の在り方

- 低・中・高学年ごとに、「話し合い活動」指導のねらい・評価規準を作成。これを基に、授業では、目指す児童の姿を具体的にイメージして指導。
- これに基づき、評価調査部でアンケートを作成した。

アンケート実施《5月・9月・12月》

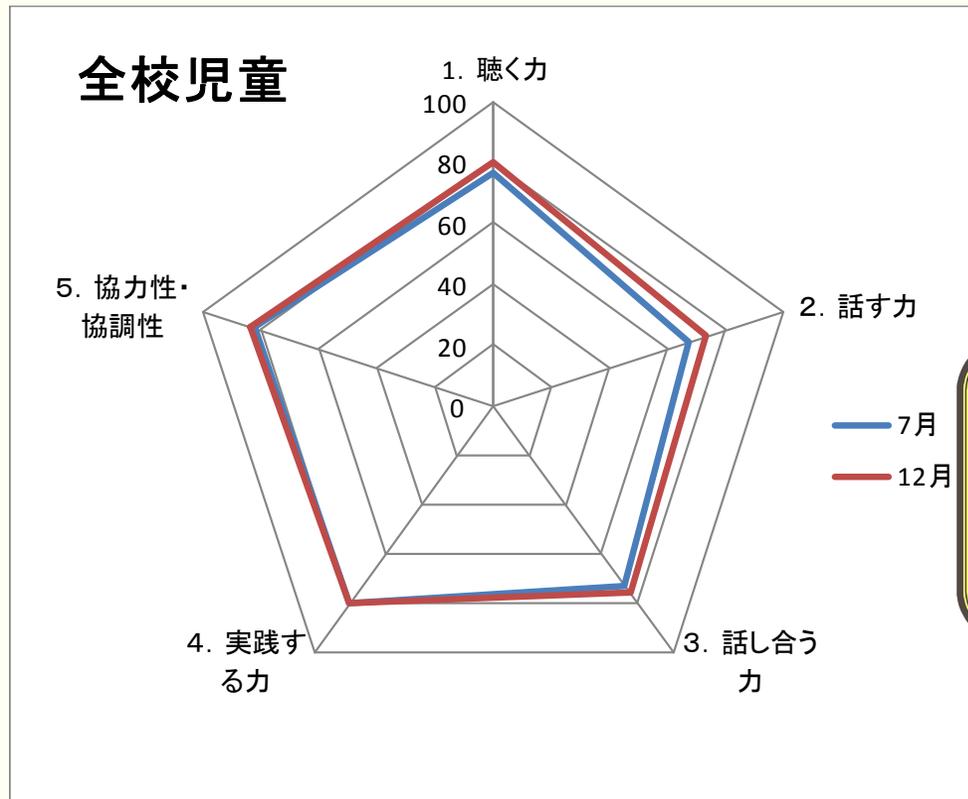
児童

教師

「話し合い活動」指導のねらい・評価規準		仙北市立角館小学校(H27)			
学年	指導のねらい	評価規準			
		集団活動や生活への関心・意欲・態度	集団の一員としての思考・判断・実践	集団活動や生活についての知識・理解	
低学年	計画	話し合いの基本が分かる	・学級生活に関心をもち、話し合いの準備に進んで取り組もうとしている。	・課題について自分の考えをもち、話し合いの順序など簡単な計画について考え、準備している。	・話し合い活動の準備の仕方や基本的な進め方を理解している。
	話し合い		・司会や記録の仕事、話し合いに進んで取り組もうとしている。	・よりよい学級の生活づくりに向けて考え、判断し、話し合っている。 ・それぞれの意見を合わせて話し合っている。	・司会や記録の仕方の役割や基本的な話し合いの進め方、集団決定の仕方を理解している。
	実践		・決定したことについて、進んで準備や計画に取り組もうとしている。	・決定したことや役割を考え、仲良く実践している。	・決定したことについて、みんな実践することの大切さや方法について理解している。
	<p>○教師の助けを得ながら、話し合い活動の準備ができるようにする。</p> <p>○学級活動ノートに自分の考えを記入するなど、話し合いの準備ができるようにする。</p>		<p>「学級生活を楽しくするための集団決定」 ＝友達の見解をよく聞いたり、約束に従って自分の意見を言うようにしたりして学級生活を楽しくするために集団決定ができるようにする。</p>		
	<p>○教師が進行等の役割を受け持つことから始め、少しずつ児童がその役割を担うことができるようにする。</p> <p>○学級生活を楽しくするために、友達の見解を聞いたり、自分の意見を発表したりして、話し合いを進めることができるようにする。</p>				
	<p>○決定したことについて仲良く実践することができるようにする。</p> <p>○教師と一緒に準備をしたり、計画を立てたりして活動できるようにする。</p>				

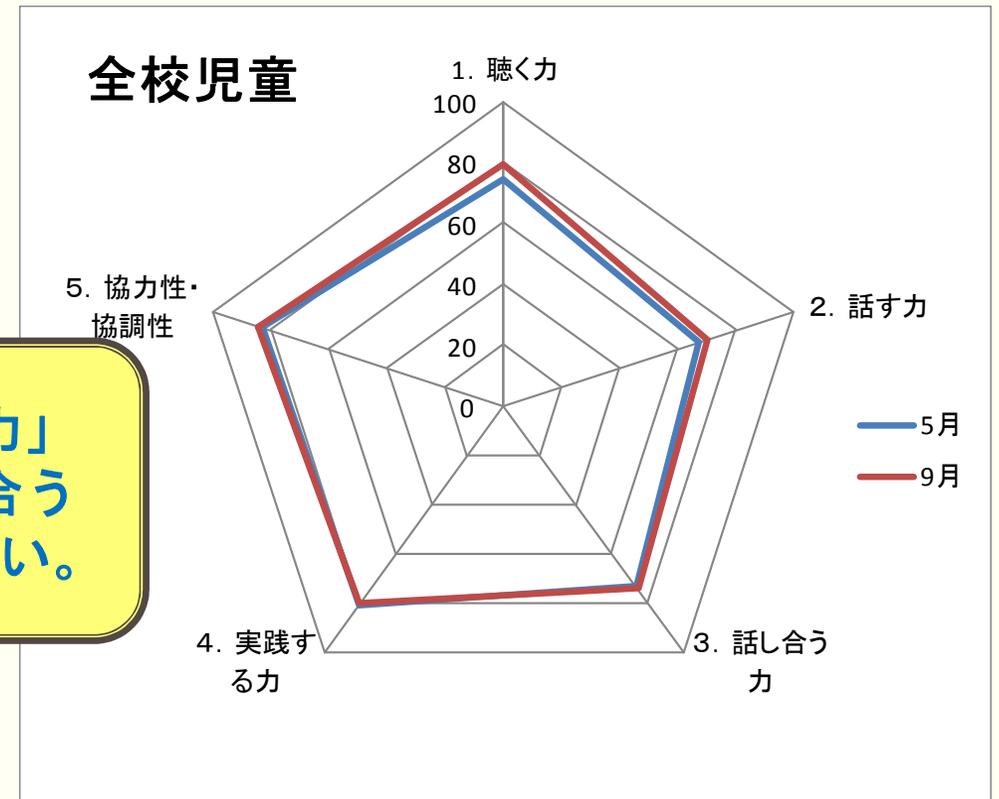
特別活動アンケートより

児童の自己評価 27年度



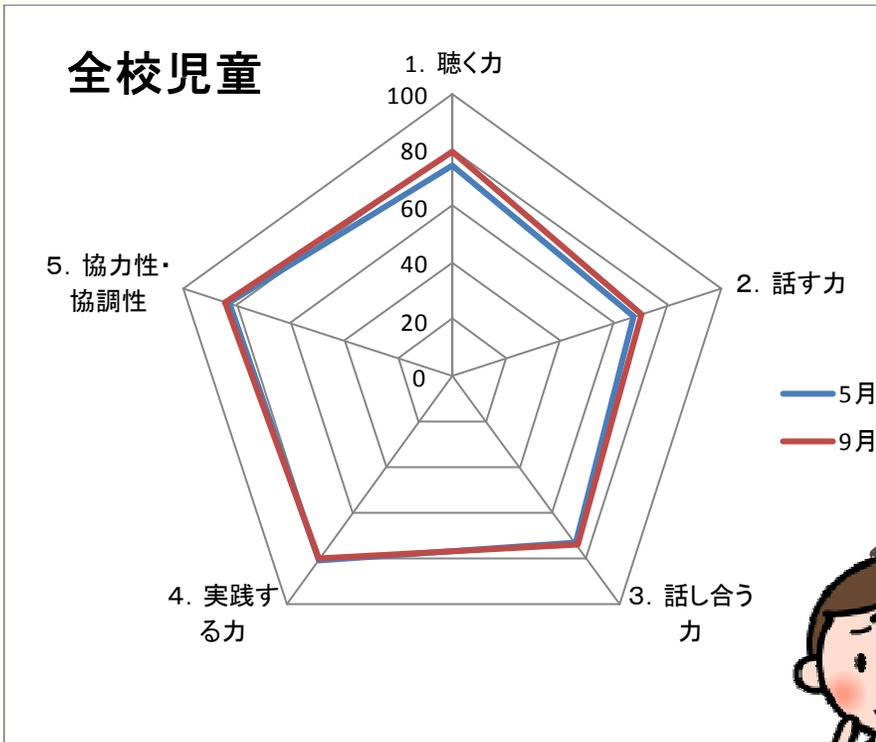
「話す力」
「話し合う力」が低い。

児童の自己評価 28年度



28年度 児童と教師の評価から

児童の自己評価 28年度

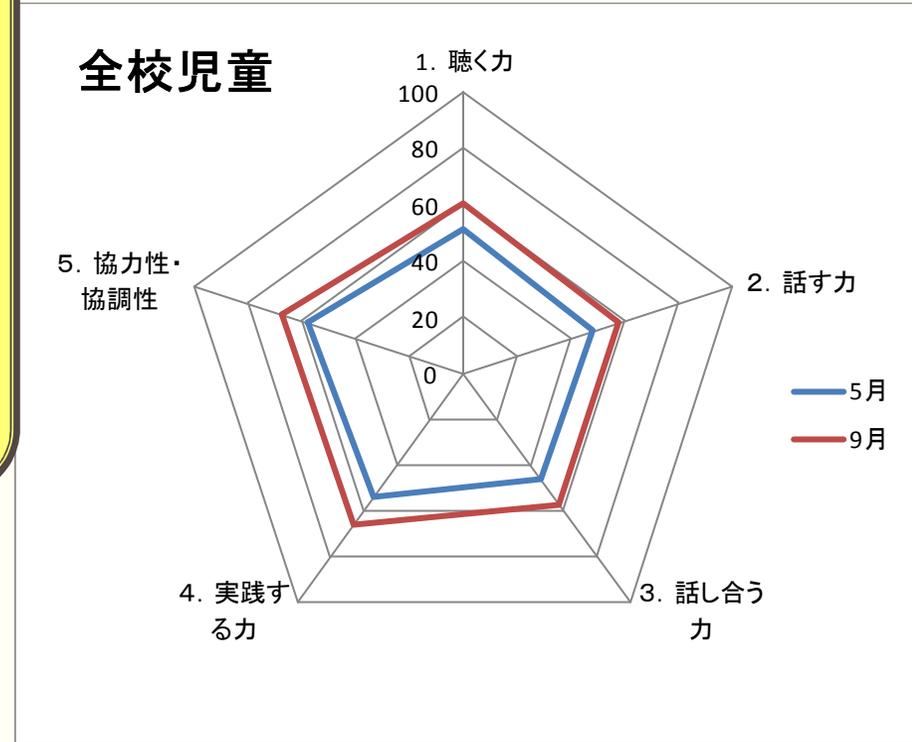


児童と教師の
評価のずれ

児童が
「目指す具体的
な姿」を
イメージでき
ていない



教師の評価 28年度

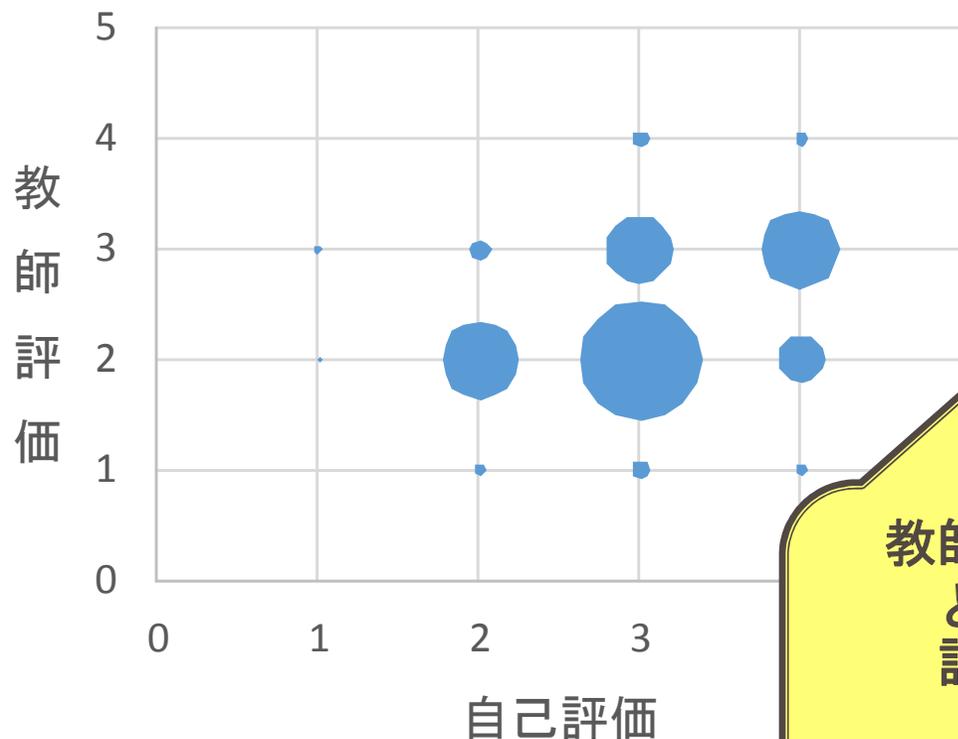


28年 上学年 「話し合うこと」 5月 9月

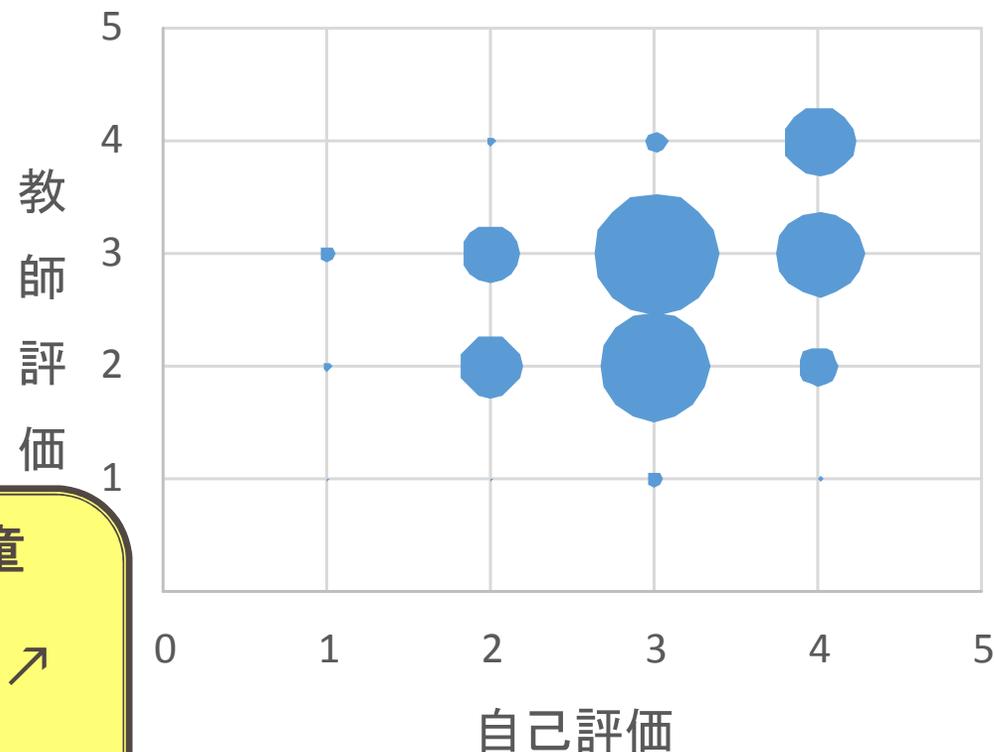
28年 上学年 5月 「話し合うこと」

28年 上学年 9月 「話し合うこと」

自己評価と教師評価5月 設問3(上学年)



自己評価と教師評価9月 設問3(上学年)



教師・児童
ともに
評価が ↗

「話し合い活動」
活性化の成果

学級活動（1）

児童の思考や話し合いの流れが分かるように

① 板書の工夫

- ・ 磁石（賛成⇒赤 反対⇒青）

- ・ 短冊

意見

賛成の理由（ピンク）

反対の理由（青）

② 導入で前の活動を想起させる工夫

③ 理由をつけた発言

4竹 「4竹ボールでなかよくなろう」

(6) 自己指導能力としての思考力・判断力・実践力を育てる 指導の工夫

学級活動（2）では、児童が**自ら努力目標を自己決定**し、その実現に取り組めるよう**展開の基本形に沿って進め**、自己指導能力の育成を図った。

板書計画を立て、**チーム・ティーチング**を活用して、児童の実態や発達の段階に合った**情報を教師が提供**したり、みんなで**解決に向けて話し合う場**を設けたりした。



学級活動（２） つかむ→さぐる→見付ける→決める の流れで



板書も授業の流れに
沿って計画

「つかむ」
役割演技で、問題意識を高める

「見付ける」
ペアやグループによる話し合い活動

(7) 児童会活動（委員会活動）の改善

児童会の一員としての役割や諸問題を解決する方法などについて考え、判断し、協同して実践できる力を付けるために



委員会活動の「評価カード」の工夫

運営委員会		6年梅組		名前		
活動のめあて	学校を中心となって協力し合い さわやかな笑顔いっぱい学校にしよう。					
	☆ よくできた ◎ できた ○ あまりできなかった △ できなかった	進んで活動する	協力して活動する	工夫して活動する	活動を提案する	<感想> ・よかったことやがんばったこと ・もう少しがんばりたいこと（常時活動もふり返って）
	活動内容					
前期前半	代表委員会を開いて、児童会テーマ、運動会テーマを決めた。あいさつ運動を進める。	☆	☆	☆	○	あいさつ運動をし、かりできてよかったです。
前期後半	・あいさつ運動 ・学習発表会の仕事（案内係） ・（学習発表会テーマ）原案と代表委員会	☆	◎	◎	◎	学習発表会の仕事や代表委員会は協力してやれたと思います。あいさつ運動はもっと大きな声で明るくやりたいです。22

28年度の主な取組

- **話し合い活動のステップアップ**

「くらべ合う」「どのようにするか」に重点をおいた話し合い

- **短冊や思考ツールの活用** ⇒ **思考を整理・分類**

考える視点（提案理由や話し合いのめあて）を明確に

- **振り返りの工夫** 視点を与える 学級の歩みに掲示

- **評価の在り方** 教師の評価方法の変更

- **児童会活動（委員会活動）の活性化**

「くらべ合う」「どのようにするか」に重点をおいた話し合い



係分担はどうするか←

どのようにするか



何をするか

まとめる←くらべ合う←出し合う
(決める)

まとめる←くらべ合う←出し合う
(決める)

・「くらべ合う」で短冊
思考ツールを活用



思考ツールの活用 活用の仕方は**本校独自の考え方**によるもの

-
- ・話し合うこと①の「何をするか」 や話し合うこと②の「どのようにするか」の「**くらべ合う**」⇒「**まとめる（決める）**」段階で活用する。

利点として

- ・話し合う際に「考える視点」 **（提案理由や話合いのめあて）**を明確にすることができる。
- ・意見を比べる際に、意見を分類・整理して決めやすくすることができる。
- ・話合いの過程や思考を可視化し、板書を構造化することでよりよいものを考え出すことができる。
- ・それぞれの考えの違いやよさを比べるなど、考えが交流でき、折り合いを付けて話し合うことができる。出された意見から選ぶだけでなく、付け足したり合体させたりして、「よりよい考え」に創り上げ、個の考えを全体の考えへと高めることができる。

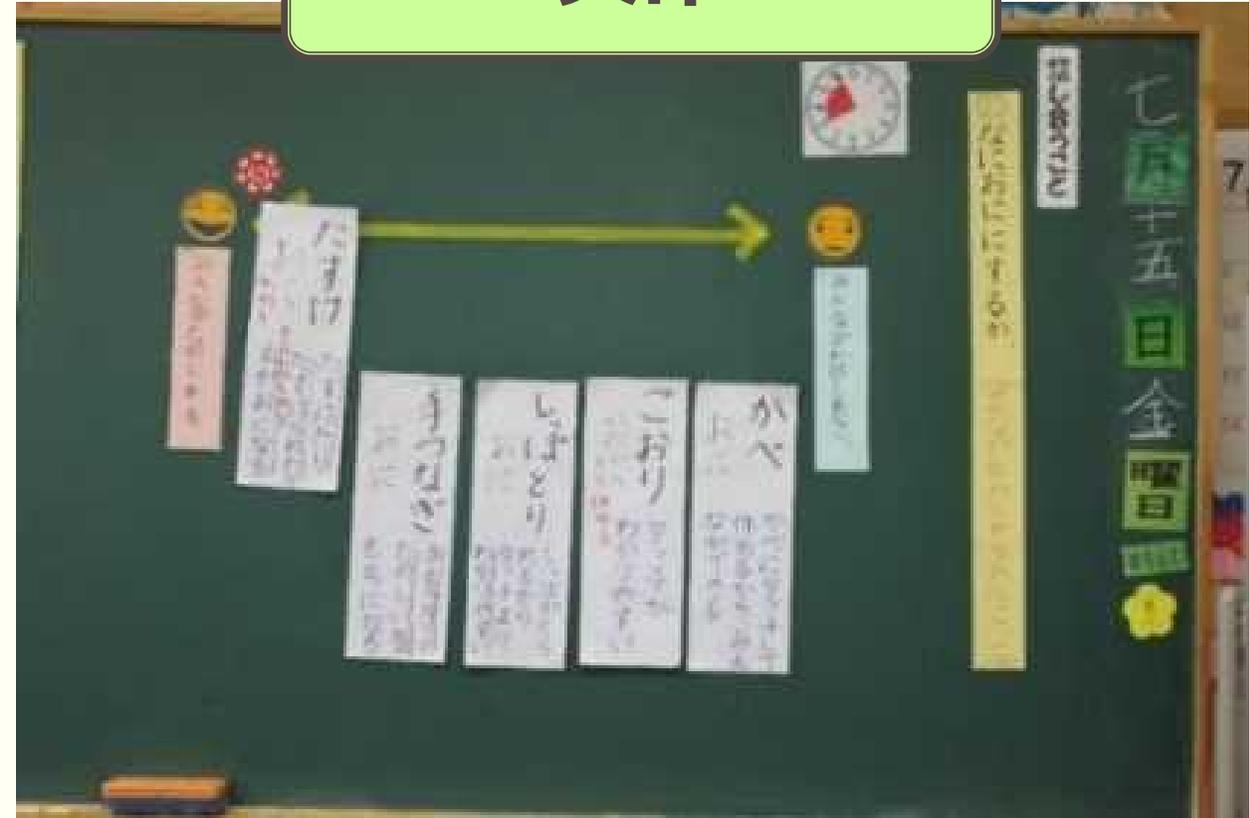
4梅 とどけよう熊本へ！4梅ビデオレター
～思いやりプロジェクトPART 2～

2松 がんばったね集会の「おにごっこ」
をしよう

座標軸



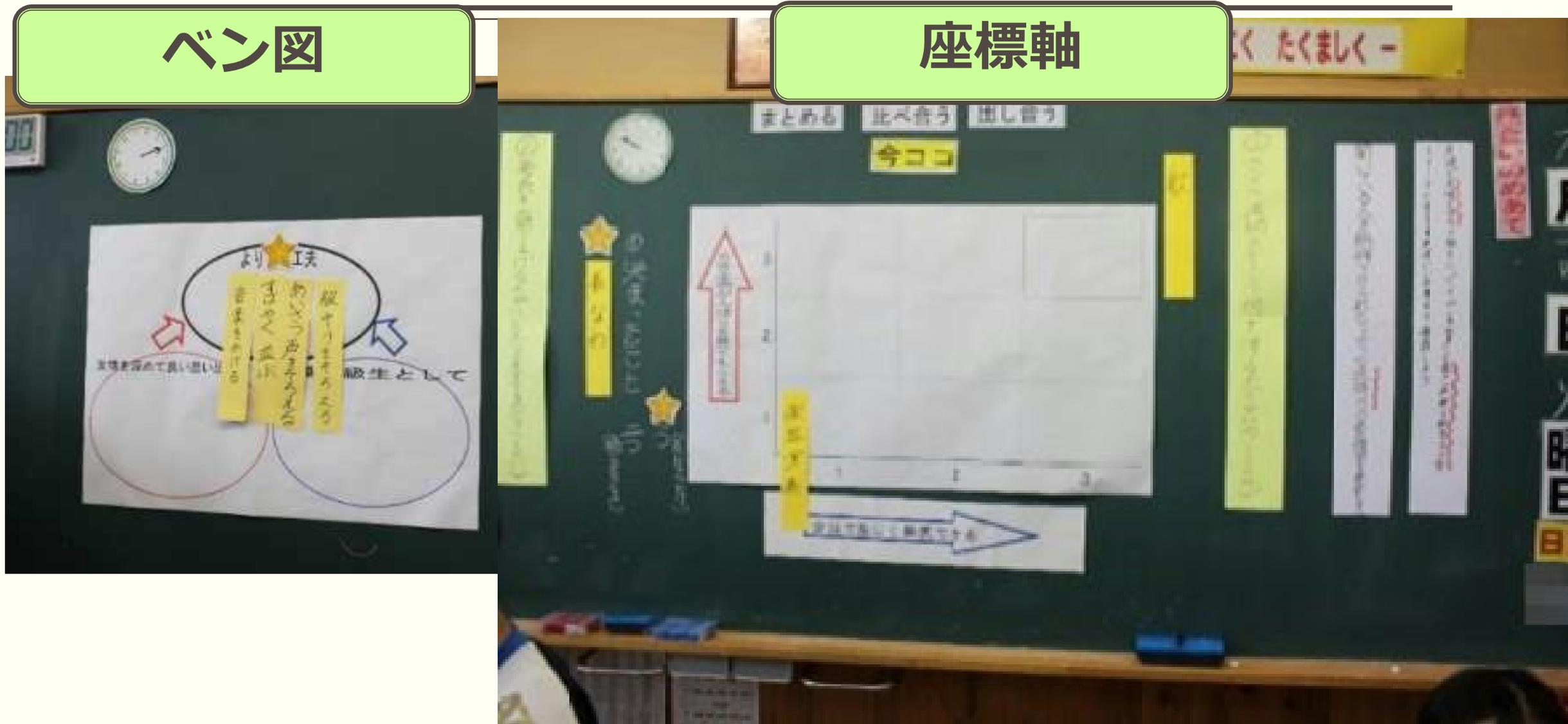
矢印



6松 さくら満開ステージにクラス全員で出場しよう

ベン図

座標軸



6竹 6竹学級紹介をしよう

4松 給食の準備の工夫を考えよう

ステップアップ



「まとめる・決める」で
絞らなくてもよい
よりよいものにしていく

ピラミッド



「まとめる・決める」で
1~2つに絞る

矢印の使い方

議題

二梅 なかよしボールしゅう会をしよう

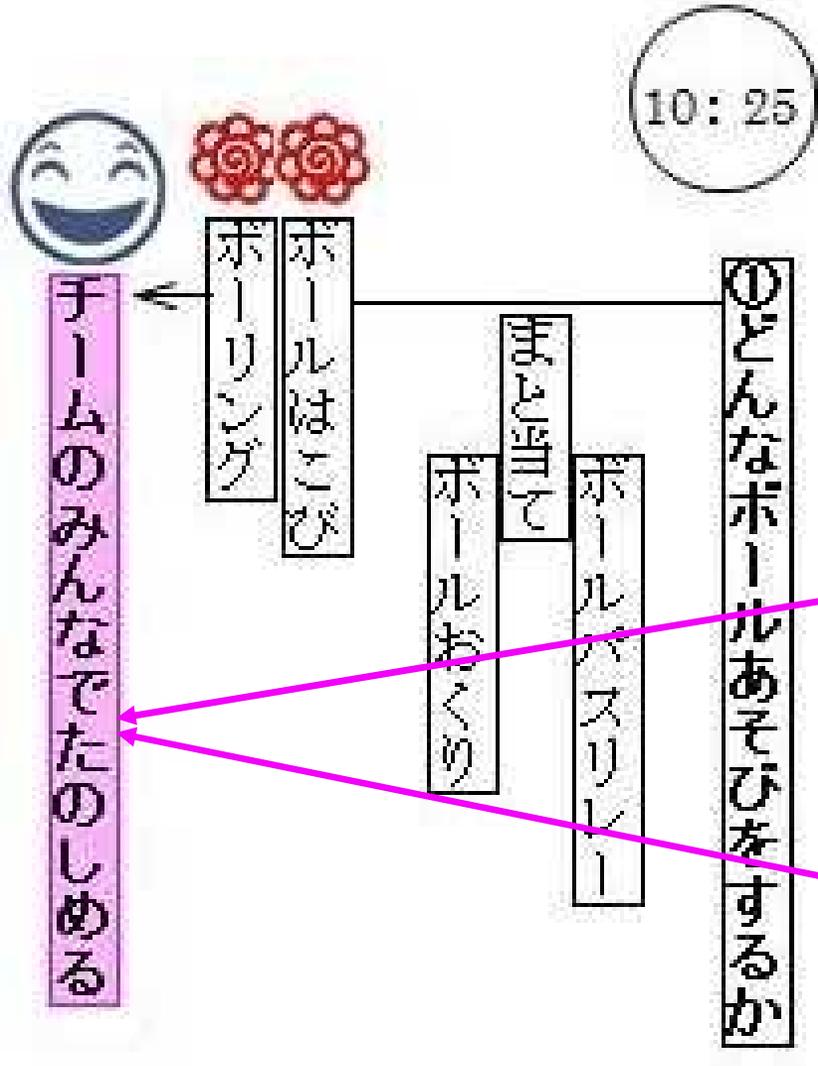
提案理由

前にしゅう会かつどうをしたときに、赤白チームのみんなでなかよくあそぶことができました。こんどはごう車の友だちとチームになって、みんなであそぶのしめるボールあそびができれば、「えがおでなかよくたすけ合い 元気ががんばるいきいき二梅」にもっと近づけると思っています、ていあんしました。

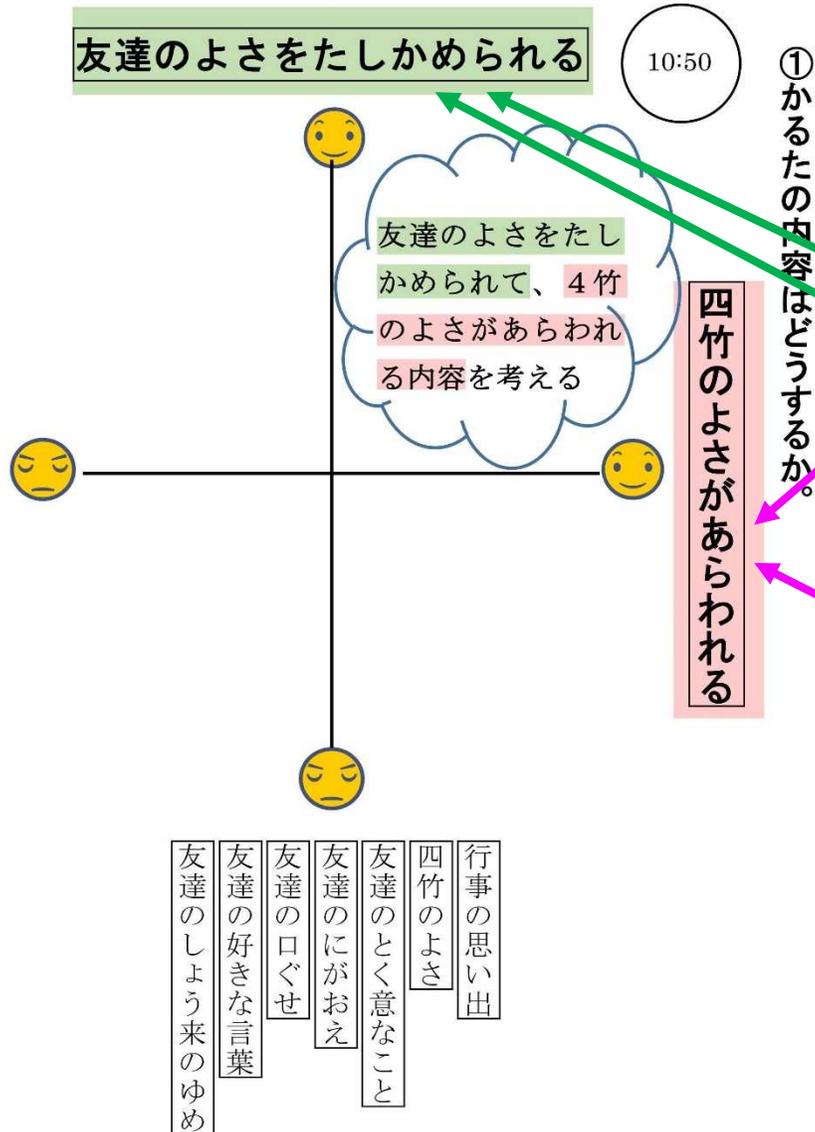
話し合いのめあて

- チームのみんなであそぶのしめるボールあそびとくふうを考えよう。
- 友だちのいけんをよく聞いて、りゆうを言って話し合おう。

話し合うこと



座標軸の使い方



① かるたの内容はどうするか。

四竹のよさがあらわれる

話し合いのめあて

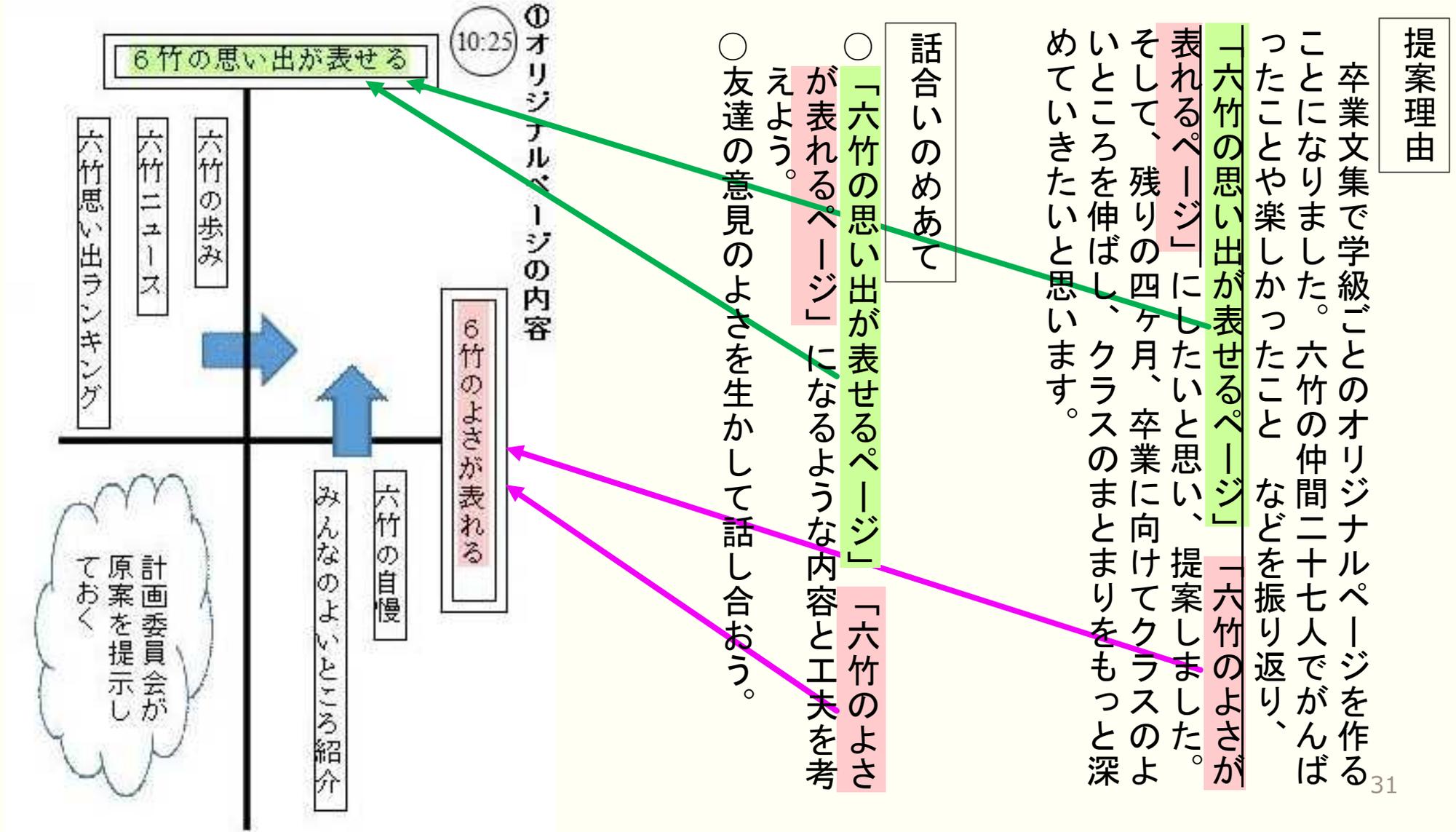
- 四竹や四竹の友達のよさをたしかめ合うことができる「四竹かるた」の内容や工夫を考えよう。
- 理由をはっきりさせて自分の考えを発表しよう。

提案理由

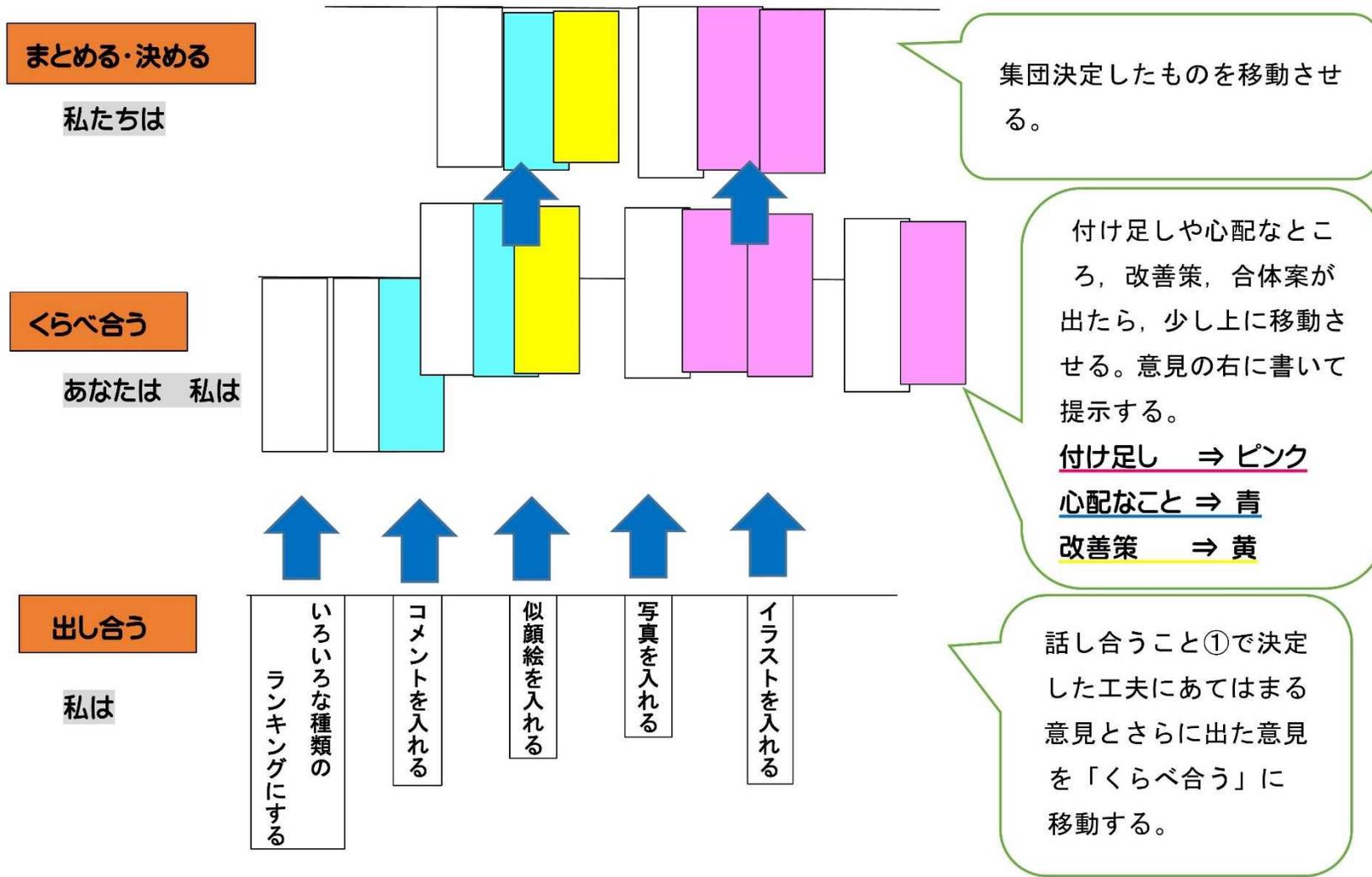
このメンバーになって二年目、四年生になってからはみんなが学級目標を意きして、それに向かってがんばってきました。十月に行った「後期もよろしくね・がんばろう集会」は、友達の新たな一面を知る機会になり、一人一人のよさを見つけることができました。

そこで、さい発見した友達のよさや四竹のよさをみんなでたしかめ合うために「四竹かるた」を作りたいと思い、てい案しました。

座標軸の使い方



ステップアップチャートの使い方



②内容をよりよくするための工夫

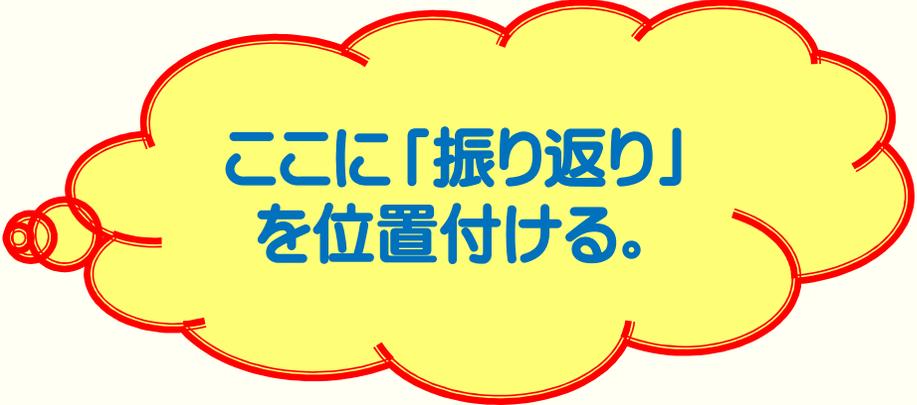
提案理由

卒業文集で学級ごとのオリジナルページを作ることになりました。六竹の仲間二十七人でがんばったことや楽しかったことなどを振り返り、「六竹の思い出が表せるページ」「六竹のよさが表れるページ」にしたいと思い、提案しました。そして、残りの四ヶ月、卒業に向けてクラスのよいところを伸ばし、クラスのまとまりをもっと深めていきたいと思っています。

とどけよう熊本へ！ 4梅ビデオレター ～ 思いやりプロジェクトpart2 ～



- 1 はじめのことば
- 2 ルールのかくにん
- 3 ボールあそび①
- 4 ボールあそび②
- 5 ひょうしょう
- 6 **ふりかえり** 1年生は“かんそうはつぴょう”
- 7 **先生の話**
- 8 おわりのことば



ここに「振り返り」
を位置付ける。

1松・6松 「ハローウィンパーティーをしよう」



振り返りの工夫

視点を与える

実践における振り返りでは、

「楽しかった」「なかよくできた」ではなく、

「何のためにやったのか」を子どもたち自身にしっかりと意識させ、

「自分はどうだったか」

「学級会での話し合いを生かした取組や工夫ができたか」

「次の話し合いで生かしたいこと」

を学級活動ノート「振り返り」に書かせるようにする。

6松 学級活動ノートより

今回のハロウィンパーティーでは、前回輪投げであまり入らず、楽しめなかつたことも改善するために話し合いで、輪を大きくするように決めました。すると今回は、調度よく入るようになり、盛り上げ、たので、よかつたと思います。

一年生とハロウィンパーティーをして、学級会で話し合ったときエ

夫点で、輪を大きくしたり、フルーツバスケットで席をゆすぶったり、プレゼントを作
てあげるとエ夫を生かして、ハロウィンパーティーを進めることが出来ました。

私は、担当の子にプレゼントをわたしたら、「字をまちがえている」と言われて名札を確認したら、本当にまちがえてしまったので申し訳ないと思いました。次に、またやるとしたら、このようなことがないようにしたいです。そして、今度やるとしたら冬にやりたいです。

「特別活動の充実」は学びの土壌をつくる

教科等の学習

「どのように学ぶか」
アクティブ・ラーニングの三つの授業
改善の視点
主体的 対話的 深い学び

「学び合い・話し合い・意見交換」



特別活動 (学びの土壌)

課題解決的な活動、協働的な学び
自らの力で学級・学校生活や自己の
生活を改善することができるように

「話し合い」

学力の向上

28年度全国学力・学習状況調査

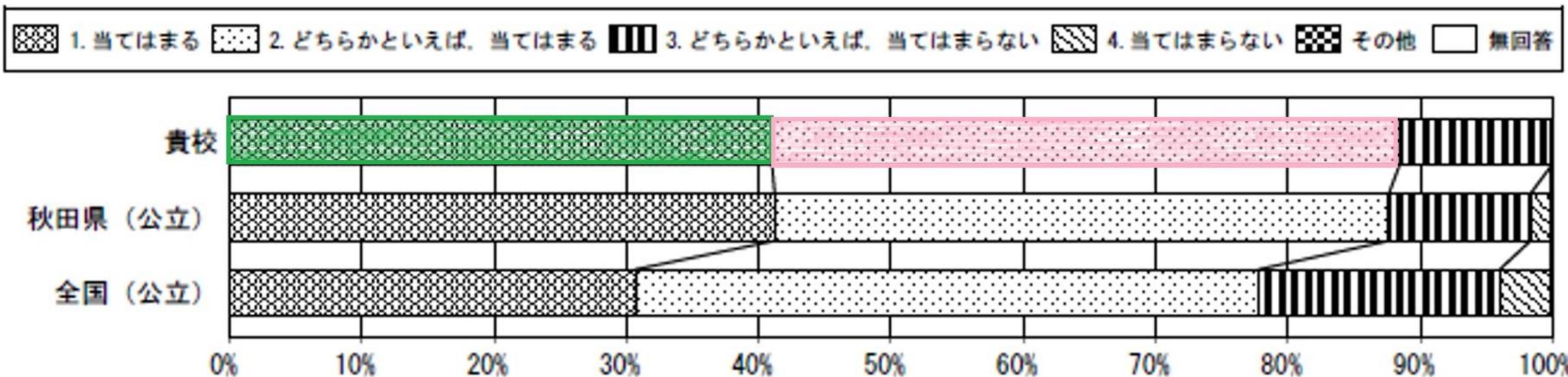
「児童生徒質問紙と学力のクロス分析」

～ 主体的・対話的で深い学びの視点による学習指導の改善の取組状況 ～

以下と回答している児童生徒の方が、教科の平均正答率が高い傾向が見られる。

5 / 11 は、学級活動と深く関連 ⇒ 4 / 5 全国・全県より高い傾向

◎ 先生から示される課題や、学級やグループの中で、自分たちで立てた課題に対して、自分で考え自分で取り組んでいたと思う。

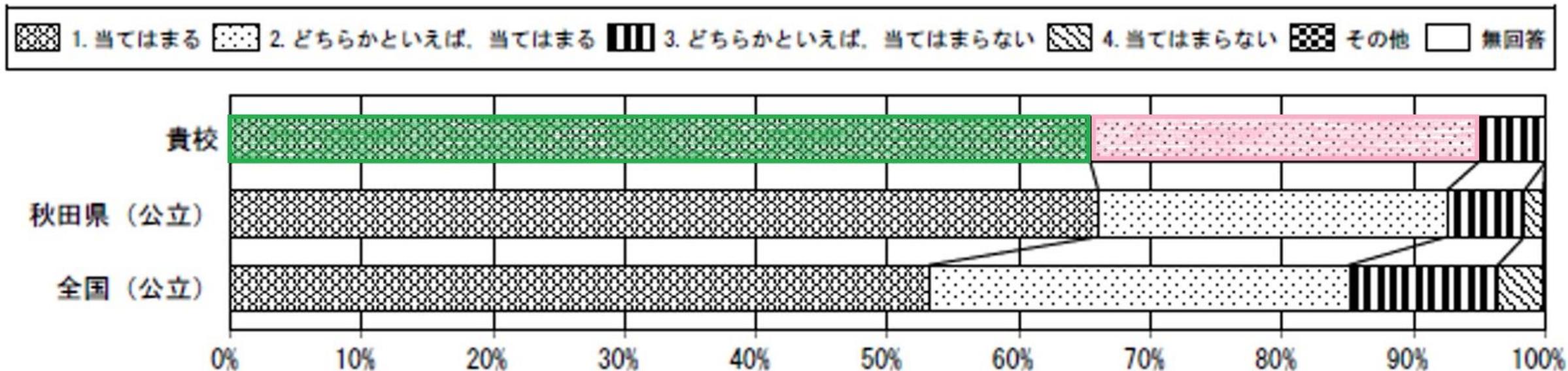


28年度全国学力・学習状況調査

「児童生徒質問紙と学力のクロス分析」

～ 主体的・対話的で深い学びの視点による学習指導の改善の取組状況 ～

◎ 自分の考えを発表する機会が与えられていたと思う。

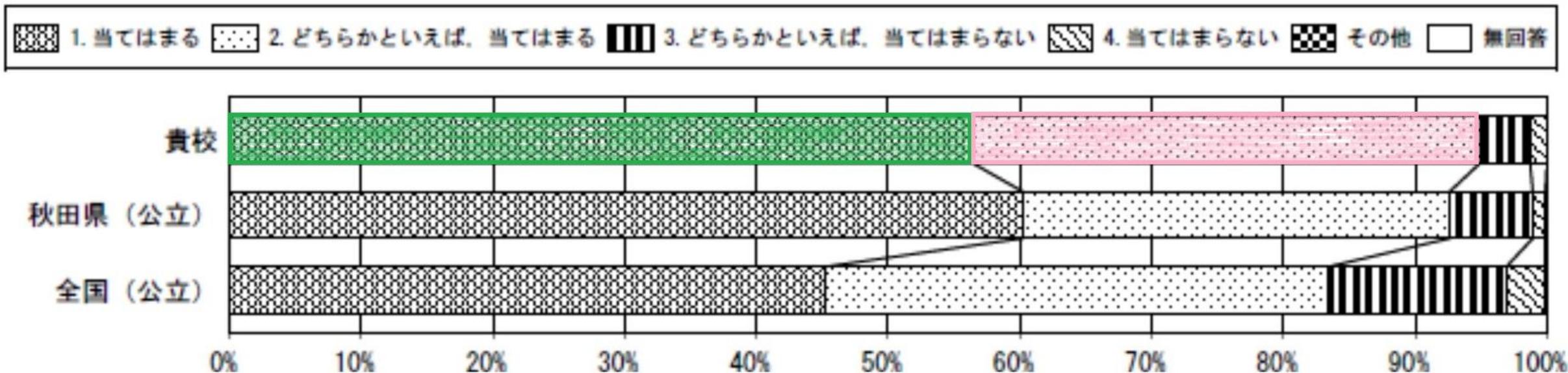


28年度全国学力・学習状況調査

「児童生徒質問紙と学力のクロス分析」

～ 主体的・対話的で深い学びの視点による学習指導の改善の取組状況 ～

◎ 学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていたと思う。

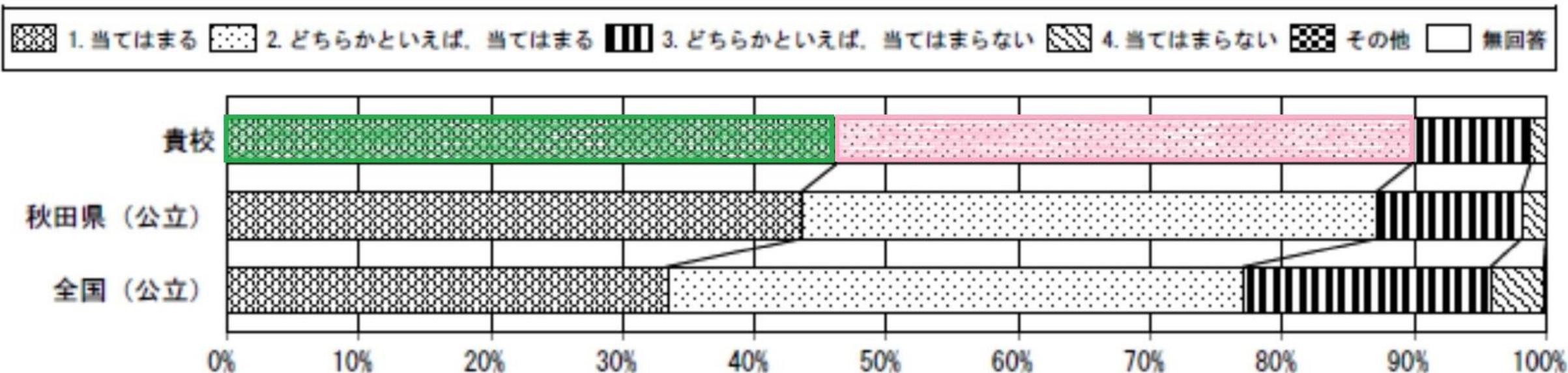


28年度全国学力・学習状況調査

「児童生徒質問紙と学力のクロス分析」

～ 主体的・対話的で深い学びの視点による学習指導の改善の取組状況 ～

◎ 学級の友達との間で話し合う活動では、話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き、自分の考えをしっかりと伝えていたと思う。

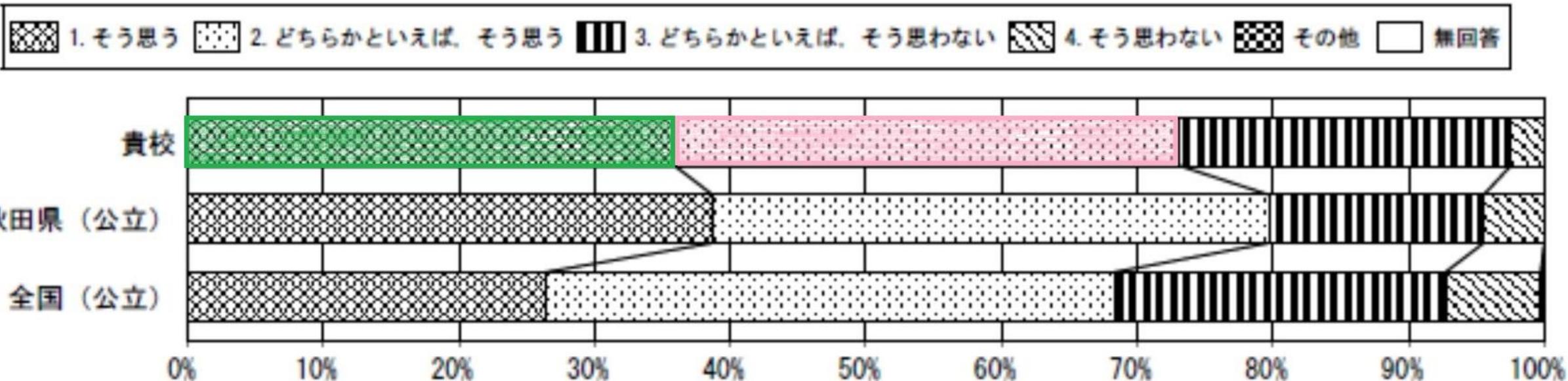


28年度全国学力・学習状況調査

「児童生徒質問紙と学力のクロス分析」

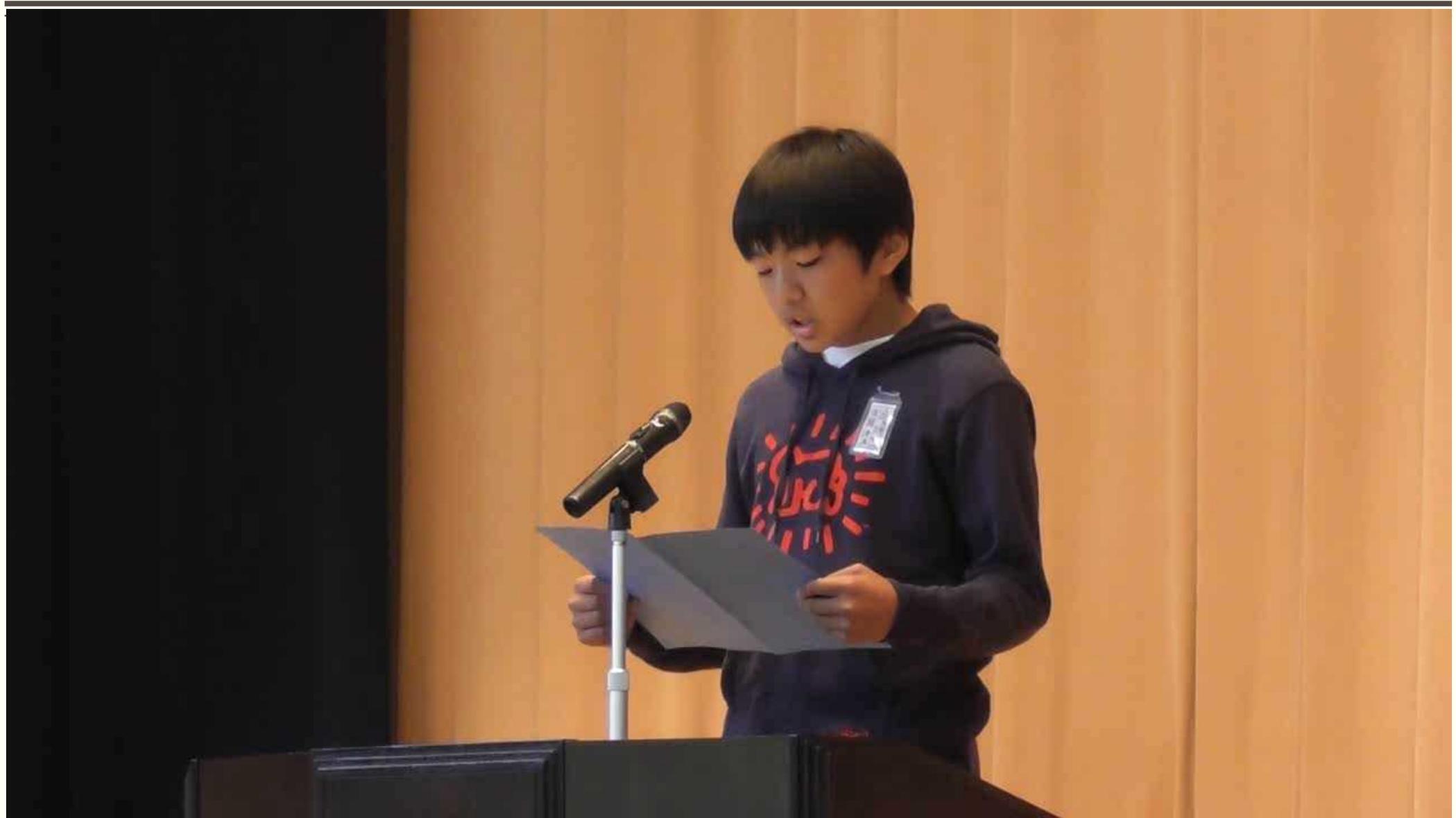
～ 主体的・対話的で深い学びの視点による学習指導の改善の取組状況 ～

○学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができると思う



前期終業式

6年生の発表「前期を振り返って」



H28 前期終業式



「落ち着き」「よりよい人間関係づくり」
「不登校 0人」



学校に行くのは楽しい 「そう思う」 本校 **69.2%**
県59.0% 全国55.2%
学校で友達に会うのは楽しい「そう思う」 本校 **91.0%**
県85.3% 全国82.9%

H28 全国学力・学習状況調査問題「児童質問紙」



児童の自信 学習意欲の向上 ⇒ 活気に満ちた学校

集会委員会による
ミニ集会



縦割り班での
あいさつ運動



自分から
あいさつ
できる子

H28 学習発表会ファイナーレ 4～6年

「つばさをください」
(伴奏：職員有志)

平成29年度
東北地区特別活動研究協議会秋田大会
秋田県小・中学校特別活動研究協議会
平成29年11月2日



子どもとともに
教師も
チャレンジ！